

山形県理学療法士会置賜支部 第4回勉強会 報告書

開催日時：平成29年1月7日（土）13：30～16：30

開催場所：アクティー米沢

参加者： 26名（16施設）

テーマ： 1）『地域包括ケアシステム推進セミナー』
2）座談会『臨床実習指導を考える』

講師： 1）地域包括ケアシステム推進対策本部より 高橋俊章会長
2）教育局教育部より 今野珠美理事ら

この度の勉強会では、年始の忙しい時期の開催にも関わらず、多くの施設からご参加いただき、とてもよい研修会を開催することができた。

山形県理学療法士会会長である高橋氏から上記テーマについてご講演頂き、2025年を見据えた社会保障制度見直しの重要性また予防事業への理学療法士としての係わりについて深く考えさせられる内容であった。

1970年モデルから2025年モデルへの変革の中には「自助」「互助」「共助」「公助」への取り組み、「治す医療」から「治し支える医療」へ、「病院完結型」から「地域完結型」への転換などその他、多くの目標課題についてお話し頂き、理学療法士の質の向上や費用対効果など今後、取り組むべき課題を明確することが出来たものと思われる。

後半には臨床実習に関するディスカッションが行われた。前年度まで学生であった新人理学療法士からのアンケートをもとに作成したデータ研究の報告を受けた後、経験年数ごとのグループに分かれ、意見交換を実施した。学生を指導するにあたって重要視していることや気を配っていることなど幾つかのテーマについて意見を交えグループごとの発表を行うことで、学生に近い若年の療法士の考えや中堅・熟年の療法士の考えなど広く知る良い機会になったと思われる。



文責 公立置賜総合病院 須貝雄大